

## ◆ 砂川市障害福祉計画策定に係るアンケート調査の概要

### 1 調査の目的

障害福祉サービスの必要量を見込むために、これまでのサービスの利用実態をもとに、障がいのある人の実情、ニーズを把握する必要があるため、障害福祉サービスを利用している方、障害児通所支援サービスを利用している方、障害者手帳（身体・知的・精神）の交付を受けている方及び指定難病に該当する方を対象にアンケート調査を実施した。

### 2 調査期間

令和6年1月19日（金）から令和6年2月9日（金）まで

### 3 調査対象者 838名

#### 【内訳】

（1）障害福祉サービスの支給決定を受けている方	300名
（2）障害児通所支援サービスの支給決定を受けている方	67名
（3）障害者手帳（身体・知的・精神）の交付を受けている方	454名
（4）難病の認定を受けている方	17名

※（1）・（2）に該当する方は全員を調査対象者とし、（3）・（4）については、該当する方のうちそれぞれ約3割にあたる方を無作為で抽出のうえ調査対象とした。

### 4 調査基準日

令和5年12月1日現在

### 5 調査方法

調査票を対象者に郵送し、無記名にて回答後、同封の返信用封筒（社会福祉課社会福祉係あて）で調査票を回収する方法で実施した。

※調査票を本人が回答することについて難しい場合は、家族や支援者が本人の意向を尊重して記入いただくよう依頼した。

○集計表及びグラフの比率は百分率で表し、小数点以下第1位を四捨五入して算出するため、合計が100%とまらない場合もあります。

○回答者を「全体」と、種別ごとに「身体障がいのある人」、「知的障がいのある人」、「精神障がいのある人」、「難病の認定を受けている人」、「発達障がいのある人」、「高次脳機能障がいのある人」、「障がいのある児童」に分け、棒グラフで表しました。なお、集計表及びグラフ内では名称を省略しております。

○グラフ内の(n)はその設問の未回答を含む集計対象の総数です。

○集計は種別ごとに行っているため、複数の障がいに該当する場合は、それぞれの種別で集計します。そのため、種別ごとの総数(n)の合計と全体の総数(n)は一致しません。

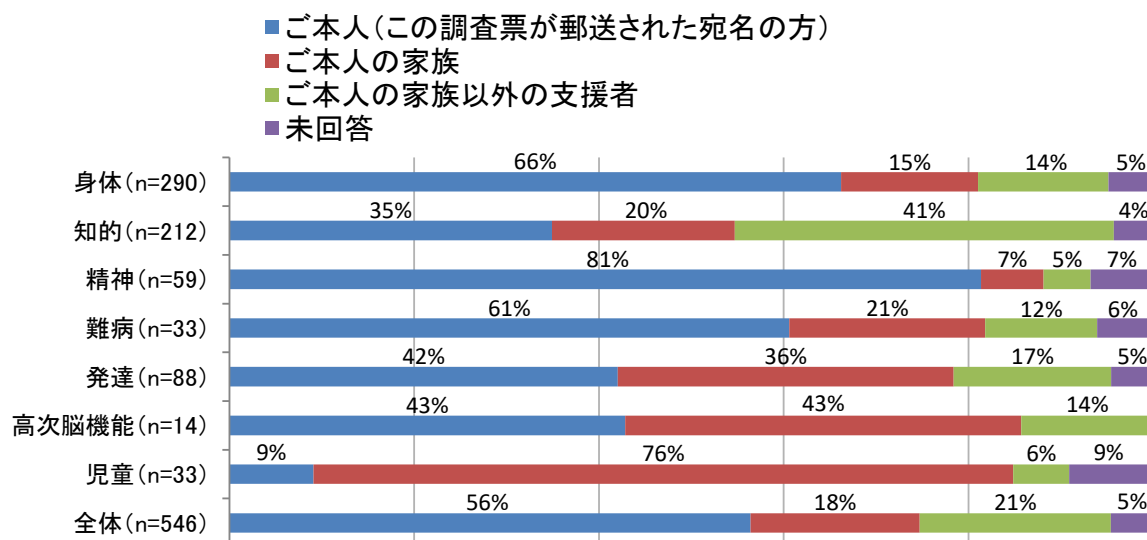
○複数回答の設問の場合は、比率の合計が100%を超える場合があります。

# アンケート調査結果

## 【回収結果】

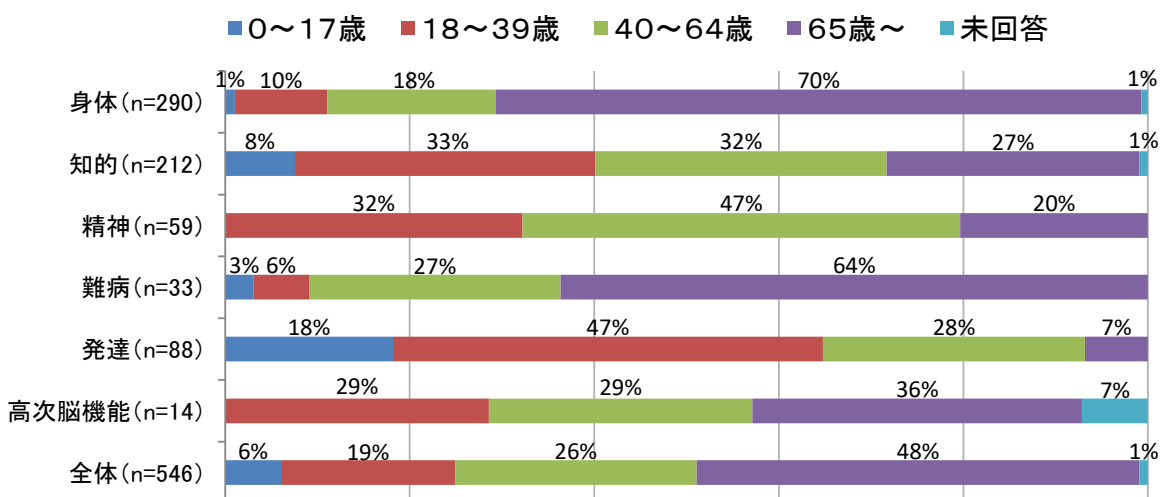
調査対象者	回収数	回収率
838	546	65.2%

### 問1 お答えいただくのは、どなたですか。



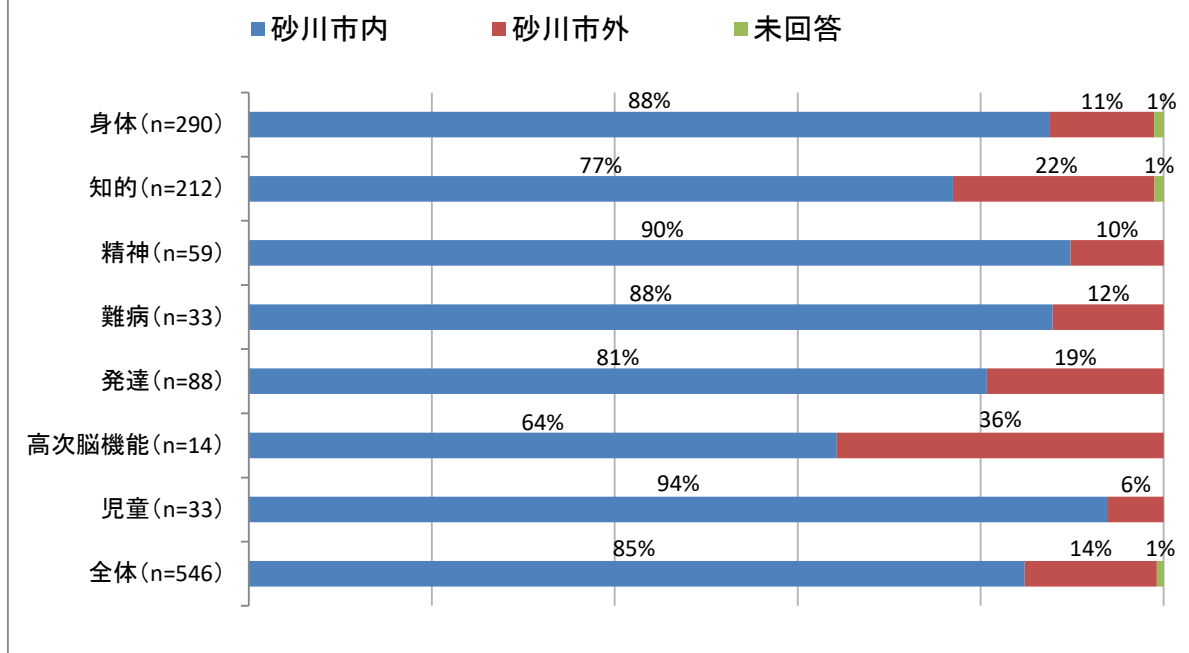
アンケートの回答者について、全体では「ご本人」が56%と最も高く、次いで「ご本人の家族以外の支援者」が21%と高い割合となっています。

### 問2 あなたの年齢をお答えください。



アンケート回答者の年齢について、全体では「65歳～」が48%と最も高く、次いで「40~64歳」が26%と高い割合となっています。

### 問3 現在、あなたがお住まいの地域はどこですか。



お住まいの地域について、全体では「砂川市内」が85%と最も高く、次いで「砂川市外」が14%となっています。障がい別にみると、「砂川市外」と回答した割合は、高次脳機能障がいのある人の36%が最も高い割合となっています。

### 問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
父母・祖父母・きょうだい	40	13	78	35	22	36	6	16	58	63	5	29	27	75	236	30
配偶者(夫または妻)	109	35	4	2	9	15	15	41	2	2	5	29	2	6	146	19
子ども	35	11	2	1	3	5	6	16	4	4	1	6	2	6	53	7
家族以外の人	2	1	7	3	2	3	1	3	2	2	1	6	2	6	17	2
その他(施設の職員など)	63	20	109	50	11	18	7	19	24	26	5	29	3	8	222	29
いない(一人で暮らしている)	63	20	18	8	13	21	2	5	1	1	0	0	0	0	97	12
未回答	3	1	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	7	1
合計	315	100	220	100	61	100	37	100	92	100	17	100	36	100	778	100

一緒に暮らしている人について、全体では「父母・祖父母・きょうだい」が30%と最も高い割合となっています。次いで「その他(施設の職員など)」が29%と高い割合となっています。

## 問5 日常生活で、どのような支援が必要ですか。

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
食事や調理の支援	123	16	163	18	27	21	18	17	63	19	13	19	22	15	429	17
排泄や入浴の支援	86	11	89	10	7	5	15	14	27	8	8	12	16	11	248	10
衣服の着脱や身だしなみの支援	71	9	85	9	4	3	14	13	29	9	6	9	15	10	224	9
家の中の移動や外出の際の支援	112	14	107	12	16	13	19	18	36	11	11	16	14	10	315	13
お金の管理	96	12	161	17	24	19	10	9	59	18	10	14	26	18	386	15
薬の管理	87	11	136	15	12	9	11	10	43	13	9	13	20	14	318	13
物を買う時や契約する時の判断	97	12	155	17	19	15	11	10	60	18	11	16	26	18	379	15
未回答	118	15	28	3	19	15	9	8	15	5	1	1	5	3	195	8
合計	790	100	924	100	128	100	107	100	332	100	69	100	144	100	2,494	100

日常生活の支援について、全体では、「食事や調理の支援」が17%と最も高い割合となっています。

## 問6 あなたを支援してくれる方は主にどなたですか。

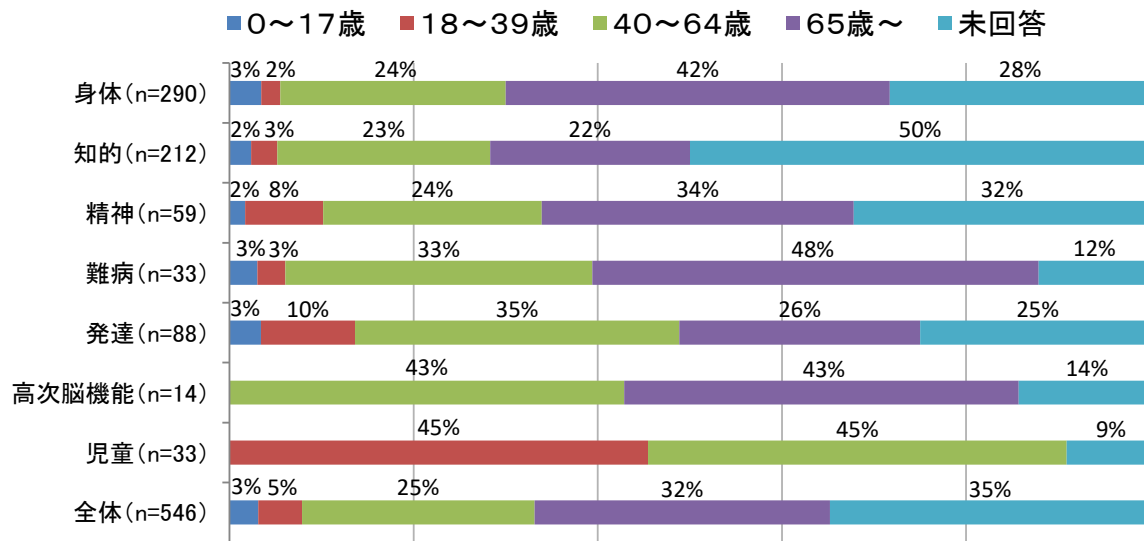
(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
父母・祖父母・きょうだい	57	16	89	35	23	34	8	17	61	55	5	26	27	73	270	30
配偶者(夫または妻)	93	26	3	1	7	10	16	35	2	2	5	26	2	5	128	14
子ども	74	21	6	2	9	13	11	24	1	1	3	16	0	0	104	12
ホームヘルパーや施設の職員	81	23	138	54	21	31	8	17	39	35	6	32	7	19	300	34
その他の人(ボランティア等)	16	5	13	5	3	4	1	2	4	4	0	0	0	0	37	4
未回答	34	10	6	2	5	7	2	4	3	3	0	0	1	3	51	6
合計	355	100	255	100	68	100	46	100	110	100	19	100	37	100	890	100

支援者について、全体では「ホームヘルパーや施設の職員」が34%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、身体障がいのある人は「配偶者(夫または妻)」、知的障がいのある人は「ホームヘルパーや施設の職員」と回答した割合が最も高く、また、精神、発達障がいのある人及び障がいのある児童は「父母・祖父母・きょうだい」と回答した割合が最も高くなっています。

問7-① あなたを支援してくれる家族で特に中心となっている方の年齢をお答えください。

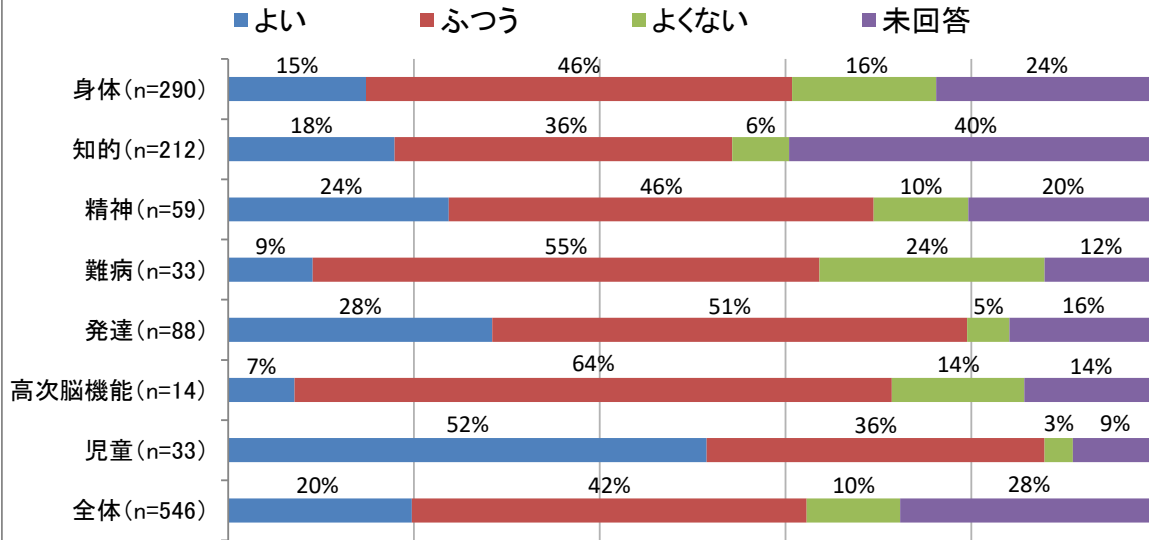
問6で「父母・祖父母・きょうだい」、「配偶者(夫または妻)」又は「子ども」と答えた方が回答



支援者の年齢について、全体では「65歳～」が32%と最も高く、「40歳～64歳」が25%と次いで高い割合となっています。障がい別にみると、難病のある人の支援者の年齢で「65歳～」が48%と高い割合となっています。

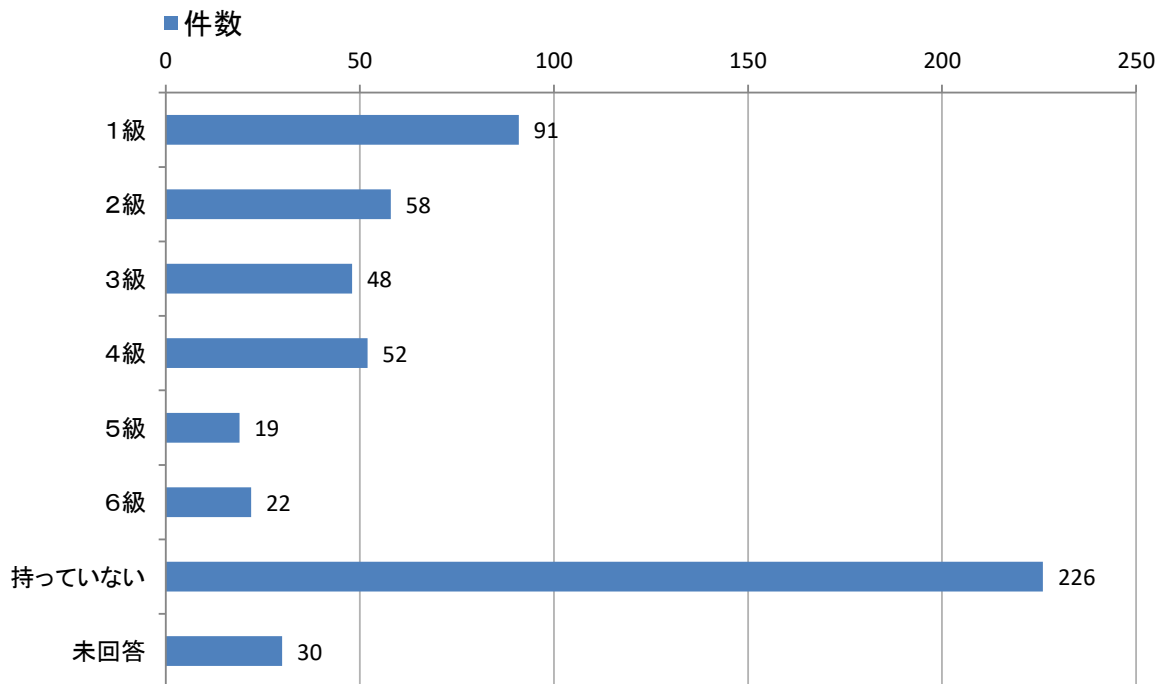
問7-② あなたを支援してくれる家族で特に中心となっている方の健康状態をお答えください。

問6で「父母・祖父母・きょうだい」、「配偶者(夫または妻)」又は「子ども」と答えた方が回答

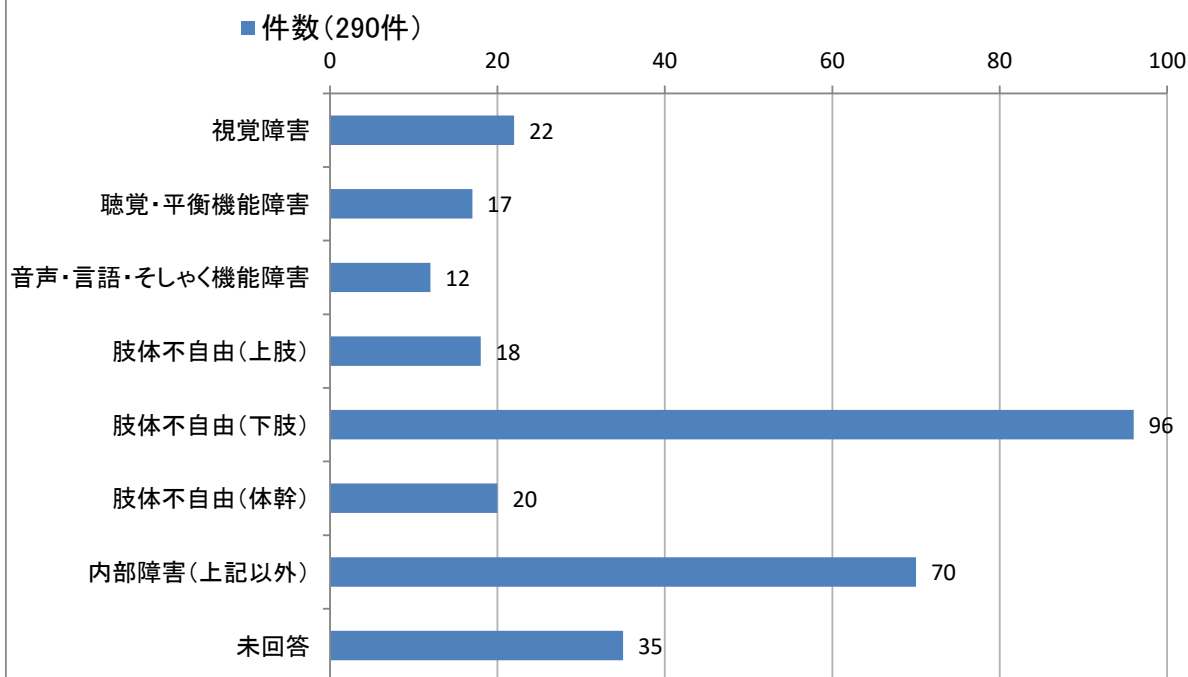


支援者の健康状態について、全体では「ふつう」が42%と最も高く、「よい」が20%と次いで高い割合となっています。障がい別にみると、難病のある人の支援者の健康状態で「よくない」が24%と少し高い割合となっています。

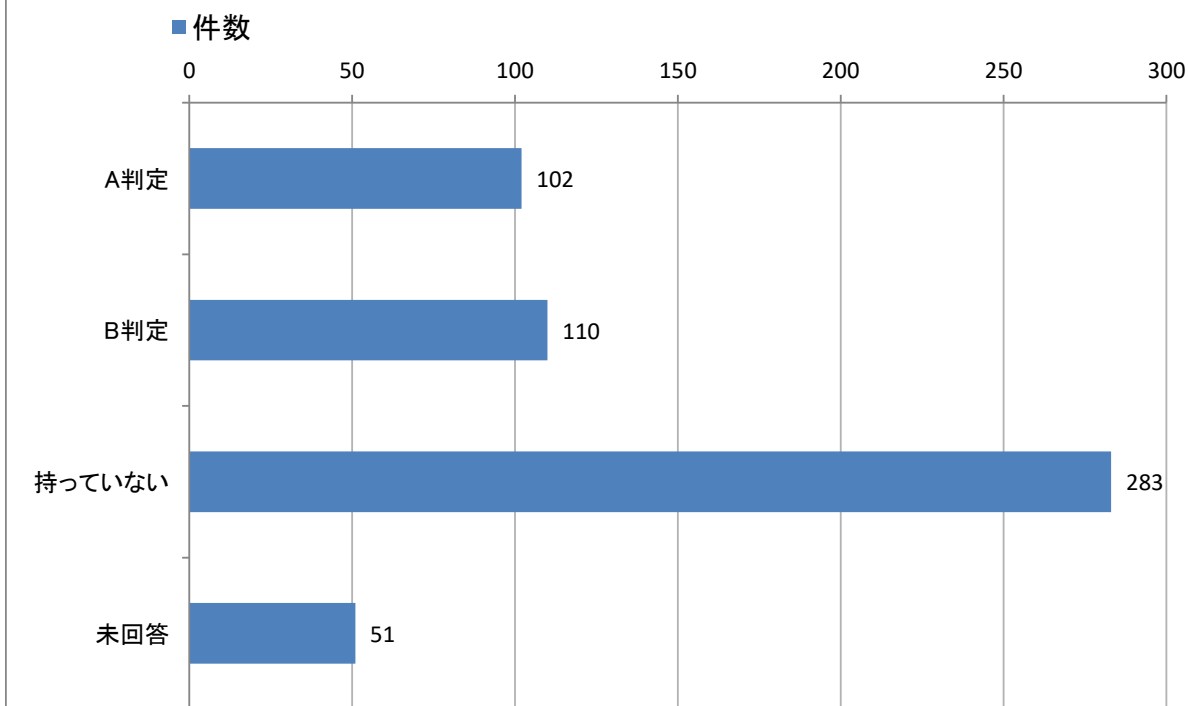
問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。



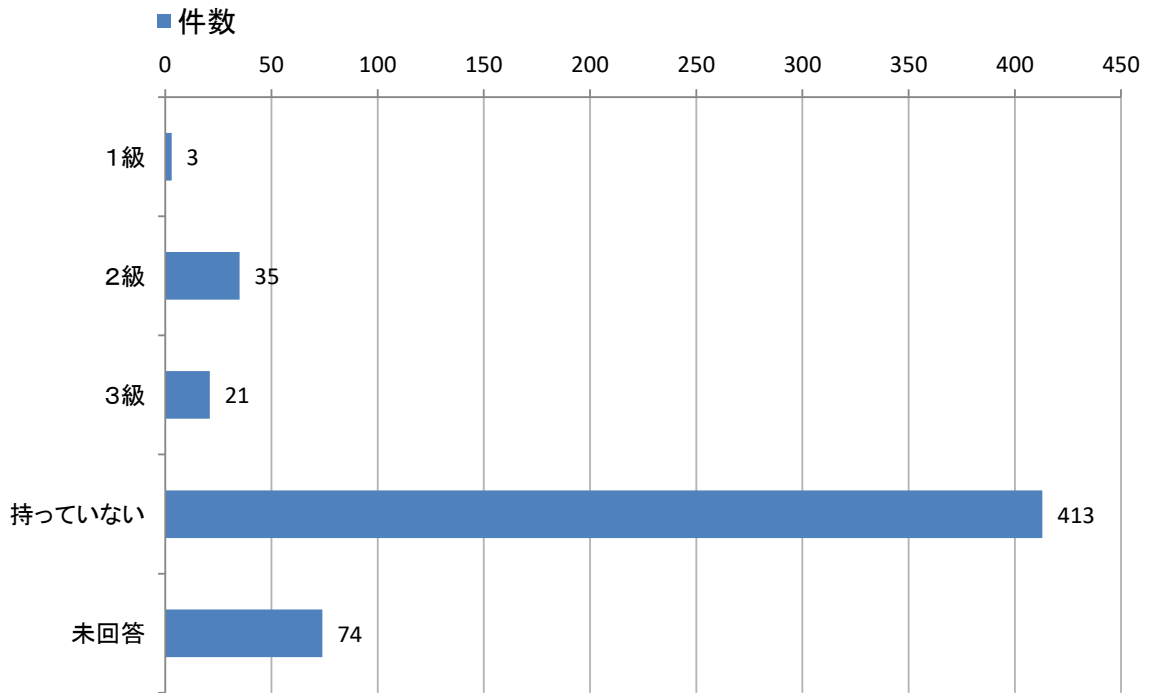
### 問9 身体障害者手帳をお持ちの場合、主な障害をお答えください。



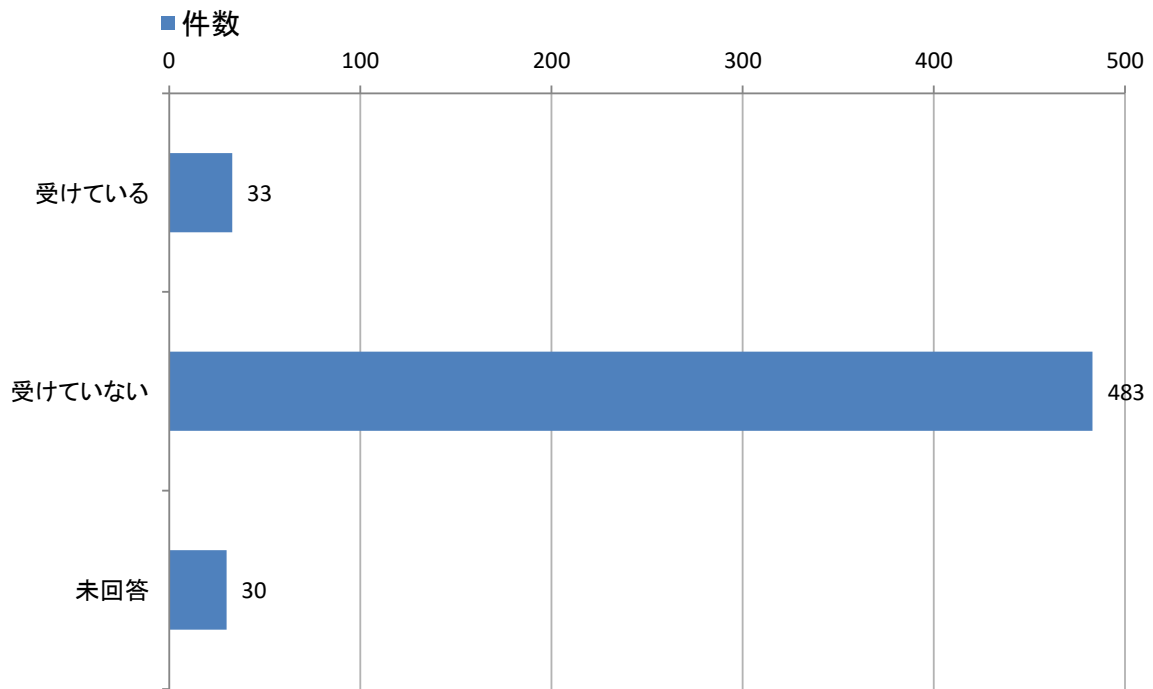
### 問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。



### 問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

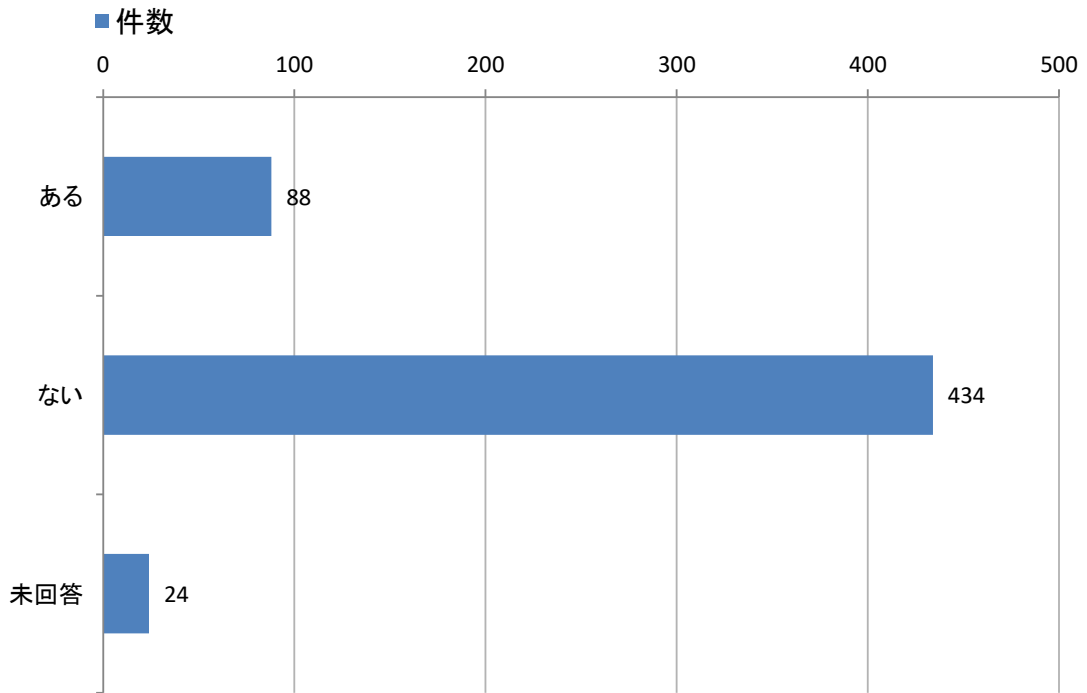


### 問12 あなたは指定難病の認定を受けていますか。

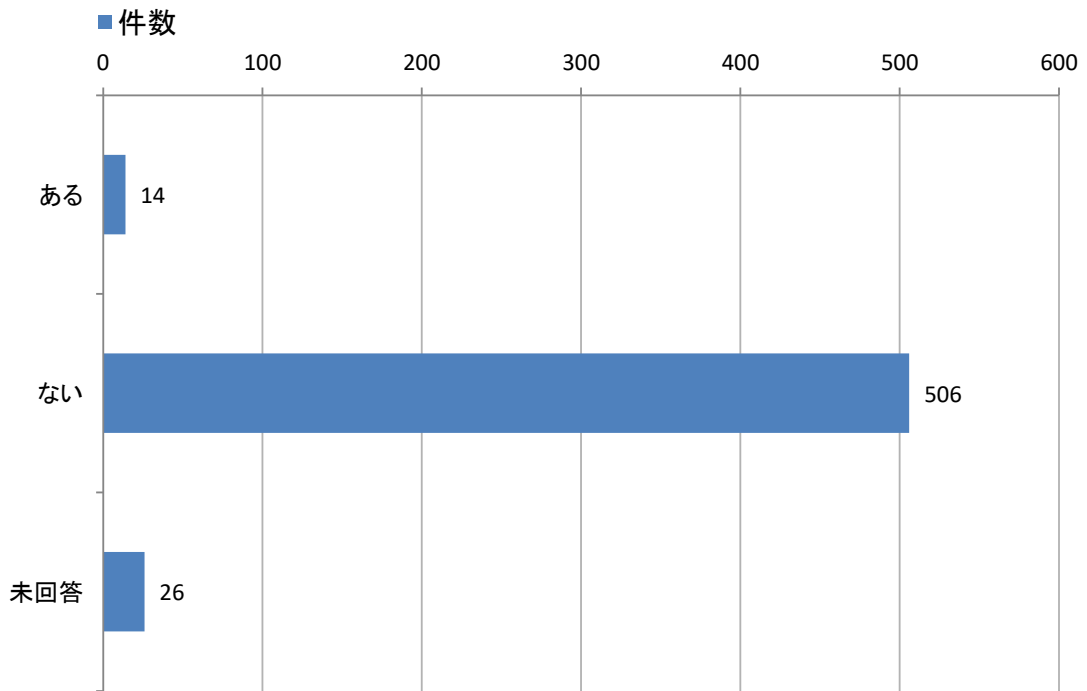




問13 あなたは発達障害と診断されたことがありますか。



問14 あなたは高次脳機能障害と診断されたことがありますか。



## 問15 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
気管切開	8	2	1	0	0	0	3	6	1	1	2	9	1	3	16	2
人工呼吸器(レスピレーター)	6	2	0	0	0	0	1	2	0	0	1	4	0	0	8	1
吸入	7	2	2	1	1	2	2	4	2	2	1	4	1	3	16	2
吸引	10	3	3	1	0	0	4	8	1	1	3	13	1	3	22	3
胃ろう・腸ろう	9	3	3	1	0	0	5	10	1	1	2	9	1	3	21	3
鼻腔経管栄養	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
中心静脈栄養(IVH)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
透析	17	5	0	0	0	0	5	10	0	0	0	0	0	0	22	3
カテーテル留置	9	3	0	0	0	0	3	6	0	0	1	4	0	0	13	2
ストーマ(人工肛門・人工膀胱)	14	4	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	15	2
服薬管理	77	22	92	41	15	25	10	20	33	35	6	26	6	15	239	29
その他	31	9	10	4	6	10	6	12	4	4	3	13	3	8	63	8
受けていない	131	38	105	47	35	57	10	20	49	53	4	17	26	67	360	43
未回答	21	6	9	4	4	7	0	0	2	2	0	0	0	0	36	4
合計	343	100	225	100	61	100	50	100	93	100	23	100	39	100	834	100

現在受けている医療的ケアについて、全体では「服薬管理」が29%と高い割合となっています。障がい別にみると、「服薬管理」がそれぞれの障がいでも高い割合となっています。

## 問16 あなたは現在どのように暮らしていますか。

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
一人で暮らしている	61	21	17	8	12	20	1	3	1	1	0	0	0	0	92	13
家族と暮らしている	157	54	78	37	33	56	23	70	60	68	8	57	29	88	388	53
グループホームで暮らしている	11	4	46	22	7	12	1	3	10	11	3	21	2	6	80	11
福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている	49	17	65	31	3	5	5	15	13	15	1	7	1	3	137	19
病院に入院している	11	4	3	1	2	3	3	9	2	2	2	14	0	0	23	3
その他	0	0	3	1	2	3	0	0	2	2	0	0	1	3	8	1
未回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	290	100	212	100	59	100	33	100	88	100	14	100	33	100	729	100

現在の暮らしについて、全体では「家族と暮らしている」が53%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、知的障がいのある人の53%がグループホーム又は福祉施設で暮らしていると回答しています。

## 問17 あなたは今後、どのような暮らしをしたいと思いますか。

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
今のまま暮らしたい	201	69	116	55	38	64	20	61	39	44	8	57	19	58	441	60
グループホームなどを利用したい	16	6	22	10	1	2	4	12	12	14	1	7	0	0	56	8
家族と一緒に暮らしたい	46	16	37	17	8	14	5	15	18	20	2	14	12	36	128	18
一般の住宅で一人暮らしをしたい	6	2	10	5	8	14	2	6	10	11	1	7	1	3	38	5
その他	12	4	17	8	2	3	2	6	7	8	2	14	1	3	43	6
未回答	9	3	10	5	2	3	0	0	2	2	0	0	0	0	23	3
合計	290	100	212	100	59	100	33	100	88	100	14	100	33	100	729	100

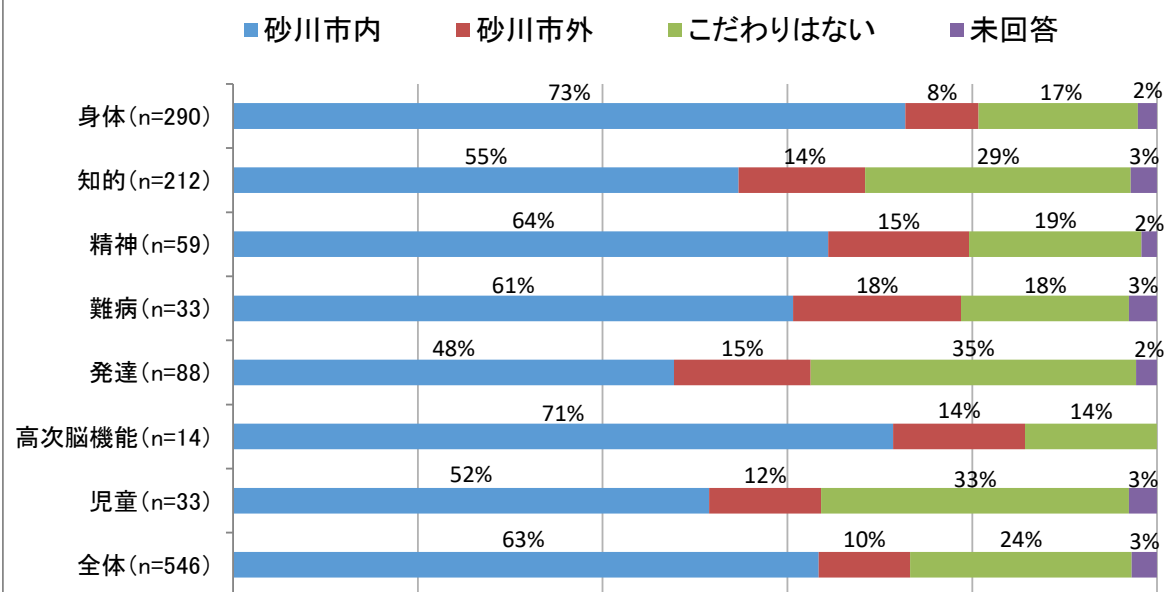
今後、どのような暮らしをしたいかについて、全体では「今のまま暮らしたい」が60%と最も高い割合となっています。次いで、「家族と一緒に暮らしたい」が18%と高い割合となっています。障がい別にみても、「今のまま暮らしたい」「家族と一緒に暮らしたい」と回答した割合が高くなっています。

## 問18 あなたは問17で答えた暮らしをするために、どのようなことがあればよいと思いますか。（複数回答可）

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
自宅で医療ケアが適切に受けられる(訪問看護)	50	9	14	3	7	4	10	13	5	2	2	6	2	3	90	6
いろいろな病気を診療してくれる病院(総合病院)	106	18	45	10	19	12	12	15	20	10	9	29	12	16	223	14
自宅で必要なサービスが適切に受けられる(ホームヘルパー)	83	14	41	9	11	7	10	13	11	5	5	16	5	6	166	11
家賃が安い住居(公営住宅やグループホームなど)	39	7	45	10	15	9	4	5	20	10	4	13	5	6	132	8
働いて収入が得られる場所(会社や施設など)	21	4	31	7	19	12	3	4	24	12	0	0	10	13	108	7
働くための訓練ができる場所	9	2	28	6	13	8	1	1	23	11	1	3	7	9	82	5
お金の支援	67	12	53	12	24	15	13	16	27	13	2	6	12	16	198	13
相談相手や支援者	58	10	86	19	23	14	9	11	37	18	4	13	9	12	226	14
手話ができる人(手話通訳士)	2	0	4	1	1	1	0	0	3	1	0	0	0	0	10	1
バリアフリー	42	7	19	4	5	3	4	5	4	2	1	3	5	6	80	5
まわりの住民の障がいへの理解(心のバリアフリー)	25	4	28	6	9	6	5	6	21	10	0	0	4	5	92	6
その他	23	4	16	4	2	1	3	4	1	0	1	3	2	3	48	3
未回答	52	9	39	9	11	7	5	6	11	5	2	6	4	5	124	8
合計	577	100	449	100	159	100	79	100	207	100	31	100	77	100	1,579	100

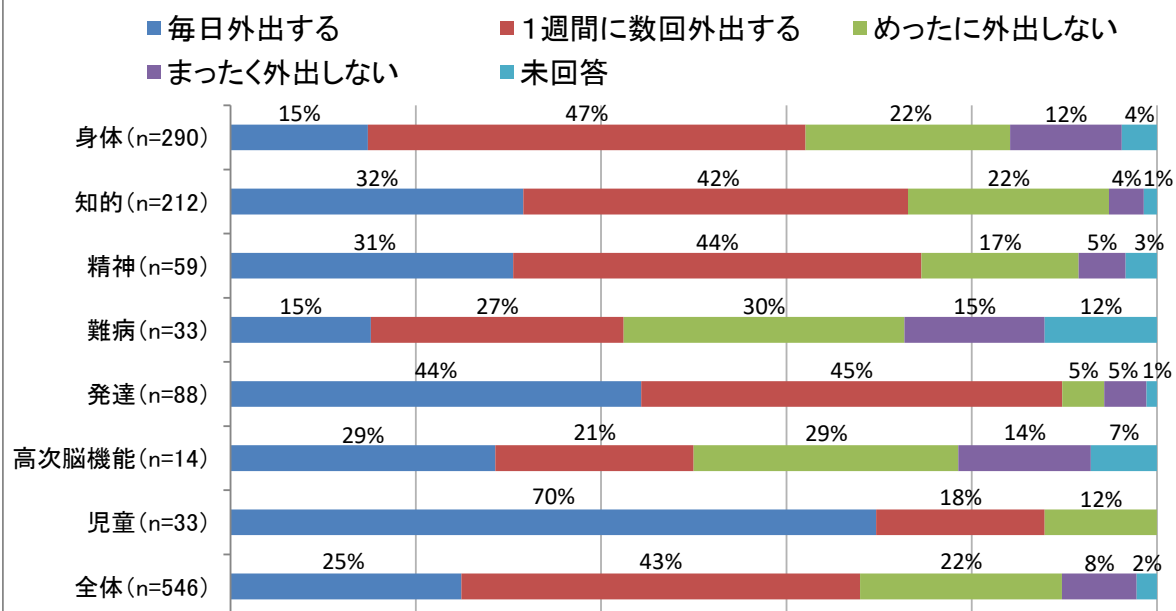
暮らしへの支援について、全体では「いろいろな病気を診療してくれる病院(総合病院)」と「相談相手や支援者」が14%と最も高い割合となっていて、次いで、「お金の支援」が13%と高い割合となっています。

### 問19 あなたはどの地域で生活したいと思いますか。



どの地域で生活したいかについて、全体では「砂川市内」が63%と最も高い割合となっています。障がい別にみても身体に障がいのある人の「砂川市内」と回答した割合が73%と最も高い割合となっています。

### 問20 あなたは、1週間にどのくらい外出しますか。



1週間にどのくらい外出するかについて、全体では「1週間に数回外出する」が43%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、身体障がいのある人及び難病の認定を受けている人が「毎日外出する」と回答した割合は15%と他より少なくなっています。

## 問21 あなたがた外出する際の主な同伴者はどなたですか。

問20で「まったく外出しない」以外と答えた方が回答

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
父母・祖父母・きょうだい	27	9	66	31	10	17	6	18	46	52	4	29	25	76	184	25
配偶者(夫または妻)	67	23	4	2	7	12	10	30	2	2	3	21	3	9	96	13
子ども	30	10	0	0	1	2	2	6	1	1	0	0	0	0	34	5
ホームヘルパーや施設の職員	57	20	80	38	5	8	6	18	14	16	4	29	2	6	168	23
その他の人(ボランティア等)	4	1	4	2	1	2	1	3	3	3	0	0	0	0	13	2
一人で外出する	90	31	53	25	33	56	4	12	21	24	1	7	3	9	205	28
未回答	15	5	5	2	2	3	4	12	1	1	2	14	0	0	29	4
合計	290	100	212	100	59	100	33	100	88	100	14	100	33	100	729	100

外出時の同伴者について、全体では「一人で外出する」が28%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、精神障がいのある人は、「一人で外出する」が56%と高い割合となっていて、知的、高次脳機能障がいのある人は「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が高くなっています。

## 問22 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

問20で「まったく外出しない」以外と答えた方が回答

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
通勤・通学・通所	58	9	102	20	27	16	5	8	61	27	7	22	31	42	291	17
訓練やリハビリに行く	23	4	9	2	7	4	4	6	7	3	4	13	3	4	57	3
病院への受診	219	34	125	24	47	27	24	36	46	20	10	31	6	8	477	27
買い物に行く	181	28	172	33	48	28	17	26	62	27	5	16	22	30	507	29
友人・知人に会う	39	6	17	3	12	7	3	5	16	7	2	6	3	4	92	5
趣味やスポーツをする	25	4	12	2	7	4	0	0	9	4	0	0	3	4	56	3
グループ活動に参加する	23	4	15	3	4	2	1	2	5	2	1	3	2	3	51	3
散歩に行く	58	9	61	12	14	8	5	8	19	8	0	0	3	4	160	9
その他	13	2	7	1	3	2	3	5	3	1	2	6	0	0	31	2
未回答	13	2	3	1	2	1	4	6	1	0	1	3	0	0	24	1
合計	652	100	523	100	171	100	66	100	229	100	32	100	73	100	1,746	100

外出の目的について、全体では「買い物に行く」が29%と最も高く、次に「病院への受診」が27%と高い割合になっています。障がい別にみると、身体、難病、高次脳機能障がいがある人は「病院への受診」の割合が高く、知的障がいがある人及び障がいのある児童では、「通勤・通学・通所」が高い割合を占めています。

## 問23 外出する際の移動手段は何ですか。

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
徒歩	65	14	91	24	25	20	6	13	36	21	0	0	14	25	237	19
自転車	9	2	32	8	10	8	1	2	13	8	0	0	4	7	69	5
自家用車	115	25	46	12	21	16	9	19	39	23	5	28	15	27	250	20
バス	34	7	37	10	19	15	2	4	16	9	1	6	3	5	112	9
タクシー	75	16	16	4	16	13	12	25	5	3	2	11	2	4	128	10
乗り合いタクシー	20	4	1	0	4	3	0	0	0	0	1	6	0	0	26	2
家族や知人・友人が送迎してくれる	67	14	47	12	10	8	10	21	30	18	1	6	14	25	179	14
会社や事業所の送迎バス	62	13	95	25	15	12	5	10	25	15	6	33	3	5	211	17
その他	17	4	14	4	8	6	3	6	5	3	2	11	1	2	50	4
未回答	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	464	100	380	100	128	100	48	100	169	100	18	100	56	100	1,263	100

外出時の移動手段について、全体では「自家用車」が20%と最も高く、次に「徒歩」が19%と高い割合になっています。障がい別にみると、身体、発達障がいがある人及び障がいのある児童は「自家用車」と回答した割合が高いのに対して、知的、高次脳機能障がいのある人は「会社や事務所の送迎バス」と回答した割合が高くなっています。

## 問24 外出する時に困ることは何ですか。

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
公共交通機関が少ない(ない)	82	15	77	19	30	26	14	19	37	22	7	35	10	17	257	19
列車やバスの乗り降りが困難	63	12	25	6	6	5	9	12	11	7	2	10	3	5	119	9
道路や駅に階段や段差が多い	97	18	39	10	8	7	11	15	11	7	4	20	3	5	173	13
切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	27	5	35	9	6	5	3	4	14	8	0	0	3	5	88	6
外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	37	7	24	6	2	2	5	7	6	4	0	0	4	7	78	6
介助者がいない	19	4	12	3	1	1	4	5	4	2	0	0	3	5	43	3
外出にお金がかかる	46	9	26	6	12	10	5	7	12	7	1	5	5	8	107	8
まわりの人の目が気になる	9	2	21	5	10	9	3	4	14	8	0	0	2	3	59	4
発作など突然の身体の変化が心配	26	5	21	5	6	5	5	7	10	6	0	0	2	3	70	5
困ったときにどうすればいいの心配	37	7	73	18	18	16	6	8	27	16	4	20	10	17	175	13
その他	16	3	16	4	7	6	2	3	3	2	1	5	1	2	46	3
未回答	74	14	35	9	10	9	6	8	19	11	1	5	13	22	158	12
合計	533	100	404	100	116	100	73	100	168	100	20	100	59	100	1,373	100

外出時に困ることについて、全体では「公共交通機関が少ない(ない)」が19%と最も高く、次に「道路や駅に階段や段差が多い」、「困ったときにどうすればいいの心配」が13%と高い割合になっています。

## 問25 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	28	10	19	9	5	8	3	9	16	18	0	0	1	3	72	10
ボランティアなど、収入を得ない活動をしている	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
専業主婦(主夫)をしている	26	9	1	0	3	5	2	6	2	2	0	0	0	0	34	5
福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)	30	10	85	40	25	42	1	3	35	40	5	36	1	3	182	25
病院などのデイケアに通っている	5	2	3	1	4	7	1	3	1	1	0	0	0	0	14	2
リハビリを受けている	5	2	1	0	0	0	1	3	0	0	1	7	0	0	8	1
自宅で過ごしている	119	41	16	8	13	22	12	36	5	6	5	36	2	6	172	24
入所している施設や病院などで過ごしている	49	17	64	30	5	8	8	24	13	15	2	14	2	6	143	20
大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	1	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0
特別支援学校(小中高等部)に通っている	1	0	3	1	0	0	0	0	4	5	0	0	4	12	12	2
一般の高校、小中学校に通っている	0	0	8	4	0	0	0	0	7	8	0	0	14	42	29	4
幼稚園、保育所、障害児通所施設などに通っている	1	0	2	1	0	0	0	0	4	5	0	0	9	27	16	2
その他	6	2	3	1	2	3	1	3	0	0	0	0	0	0	12	2
未回答	16	6	6	3	1	2	4	12	0	0	1	7	0	0	28	4
合計	290	100	212	100	59	100	33	100	88	100	14	100	33	100	729	100

平日の日中の過ごし方について、全体では「福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)」が25%と最も高い割合になっています。次いで、「自宅で過ごしている」が24%、「入所している施設や病院などで過ごしている」が20%となっています。障がい別にみると、身体、高次脳機能障がいのある人、難病の認定を受けている人は「自宅で過ごしている」と回答した割合が4割近くと多くなっています。知的、精神、発達障がいのある人は「福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)」と回答した割合が4割近くと多くなっています。



## 問26 どのような勤務形態で働いていますか。

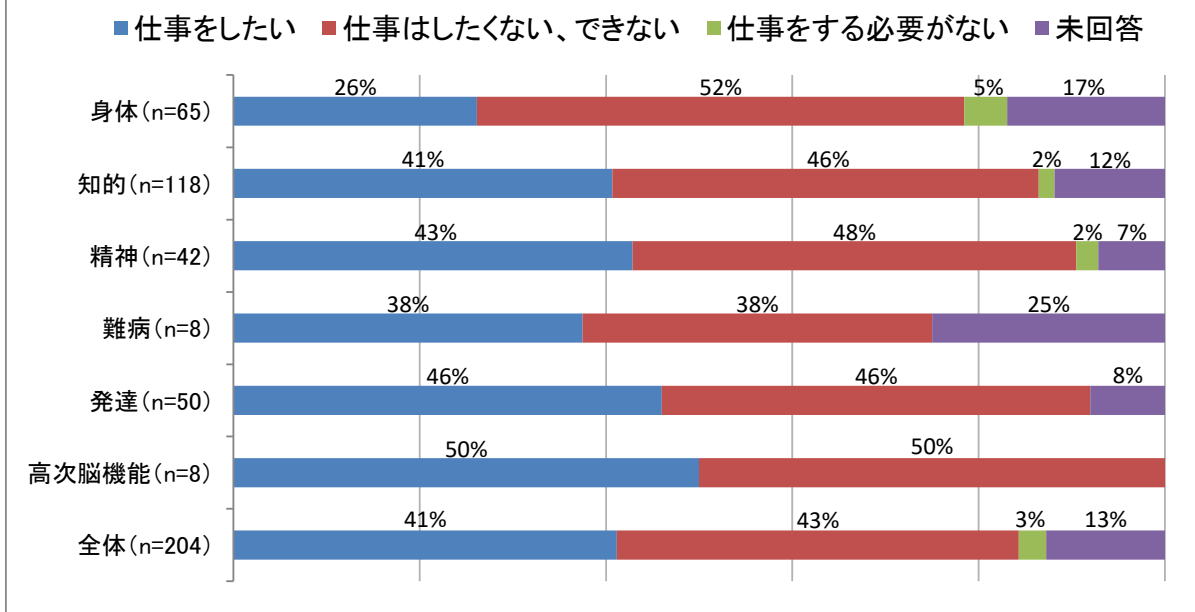
問25で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」と答えた方が回答

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない	7	25	5	26	1	20	0	0	3	19	0	0	0	0	16	22
正職員で短時間勤務などの障がい者への配慮がある	2	7	3	16	0	0	1	33	2	13	0	0	1	100	9	13
パート・アルバイトなど	11	39	10	53	4	80	1	33	8	50	0	0	0	0	34	47
自営業、農林水産業	7	25	0	0	0	0	1	33	0	0	0	0	0	0	8	11
その他	1	4	0	0	0	0	0	0	2	13	0	0	0	0	3	4
未回答	0	0	1	5	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	2	3
合計	28	100	19	100	5	100	3	100	16	100	0	0	1	100	72	100

勤務形態について、全体では「パート・アルバイトなど」が47%と最も高い割合となっています。

## 問27 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。

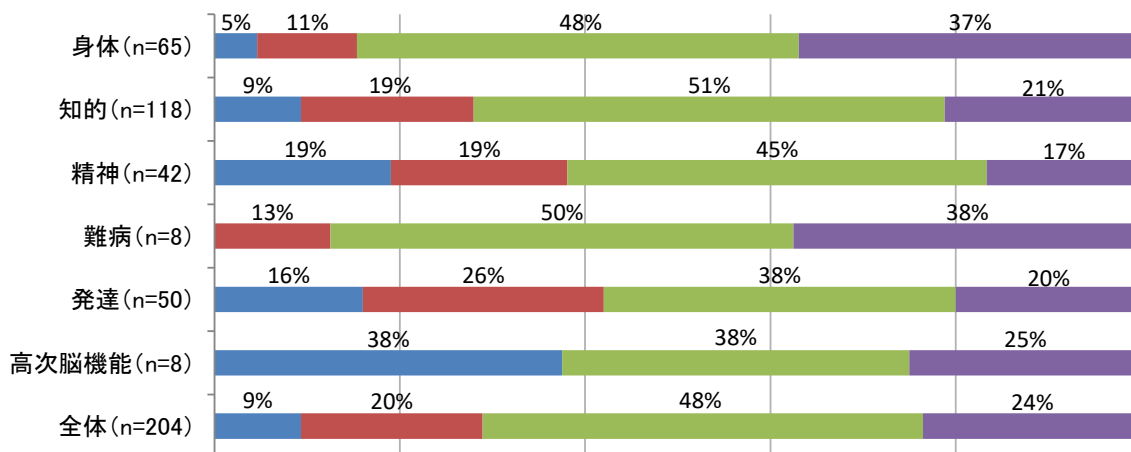
問25で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外と答えた18～64歳の方が回答



収入を得る仕事がしたいかについて、全体では「仕事をしたくない、できない」が43%と最も高い割合となっています。

問28 収入を得る仕事をするために、職業訓練を受けたいと思いますか  
問25で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外と答えた18～64歳の方が回答

- すでに職業訓練を受けている
- 職業訓練を受けたい
- 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない
- 未回答



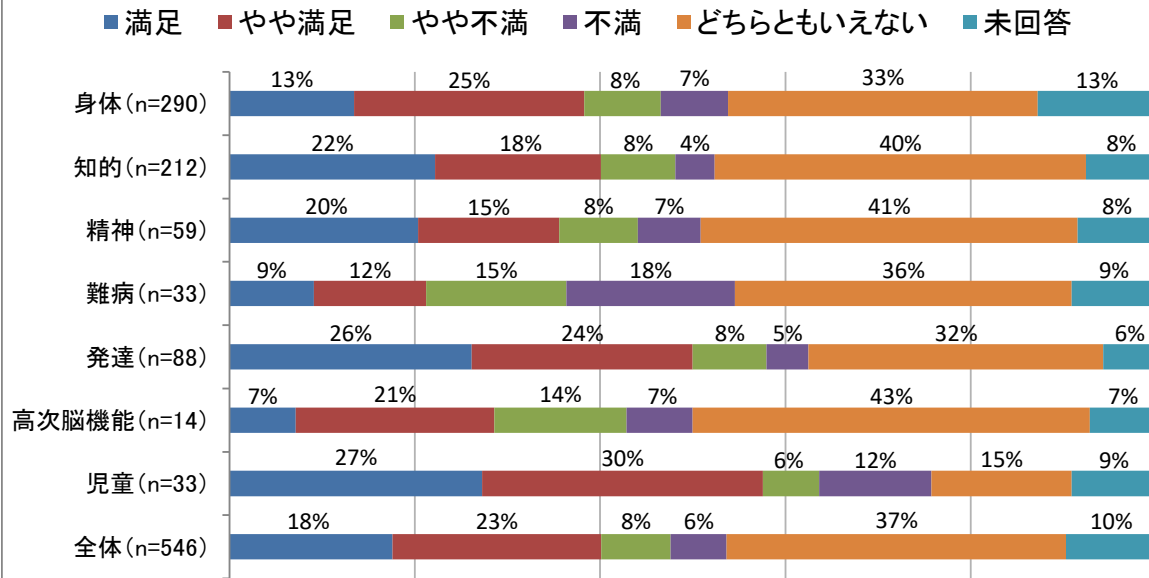
職業訓練を受けたいかについて、「すでに職業訓練を受けている」又は「職業訓練を受けたい」と回答した割合が全体の29%であり、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」は48%となっています。

問29 あなたは、障がい者の就労支援として、  
どのようなことが必要だと思いますか。 (複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
通勤手段の確保	74	11	65	12	27	13	8	10	33	11	5	10	10	10	222	11
職場や通勤途中におけるバリアフリーなどの配慮	41	6	17	3	8	4	5	6	10	3	3	6	4	4	88	4
短時間勤務や勤務日数などの配慮	64	10	48	9	24	12	4	5	32	10	4	8	7	7	183	9
在宅勤務の拡充	45	7	11	2	17	8	6	8	10	3	1	2	4	4	94	5
職場の障がいへの理解	77	12	92	16	27	13	12	15	57	18	6	13	16	16	287	15
職場の上司や同僚に障がいの理解があること	76	11	75	13	24	12	11	14	46	15	5	10	15	15	252	13
職場で介助や援助などが受けられること	41	6	56	10	13	6	6	8	27	9	7	15	6	6	156	8
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	33	5	45	8	19	9	6	8	31	10	5	10	9	9	148	8
企業ニーズに合った就労訓練	22	3	24	4	16	8	3	4	19	6	2	4	8	8	94	5
仕事についての職場外での相談対応、支援	40	6	45	8	15	7	6	8	30	10	5	10	5	5	146	7
その他	18	3	16	3	1	0	1	1	2	1	0	0	2	2	40	2
未回答	134	20	64	11	14	7	12	15	14	5	5	10	12	12	255	13
合計	665	100	558	100	205	100	80	100	311	100	48	100	98	100	1,965	100

就労支援として必要なことについて、全体では「職場の障がいへの理解」が15%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、高次脳機能障がいのある人は、「職場で介助や援助などが受けられること」が最も高い割合を占めています。

問30 あなたは、砂川市の障がい者福祉サービスに満足していますか。



砂川市の障がい福祉サービス満足度について、全体では「どちらともいえない」が37%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「やや不満」、「不満」と回答した割合は、難病の認定を受けている人が33%と最も高い割合を占めています。

問31 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
家族や親せき	176	34	91	24	26	22	21	34	63	33	5	19	26	33	408	29
友人・知人	64	12	31	8	16	13	4	7	23	12	2	8	12	15	152	11
近所の人	19	4	1	0	2	2	1	2	1	1	1	4	1	1	26	2
職場の上司や同僚	4	1	8	2	3	3	1	2	8	4	1	4	2	3	27	2
施設の職員など	63	12	123	32	15	13	6	10	37	19	3	12	8	10	255	18
障害福祉サービス事業所の職員	25	5	49	13	14	12	6	10	22	12	3	12	7	9	126	9
障がい者団体や家族会	1	0	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4	0
かかりつけの医師や看護師	49	9	23	6	20	17	4	7	18	9	3	12	2	3	119	9
病院のソーシャルワーカーや介護保険のケアマネージャー	27	5	4	1	6	5	7	11	0	0	2	8	0	0	46	3
民生委員・児童委員	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4	0	0	5	0
保育所、幼稚園、学校の先生	1	0	9	2	0	0	0	0	8	4	0	0	15	19	33	2
相談支援事業所などの民間の相談窓口	9	2	16	4	4	3	1	2	4	2	1	4	3	4	38	3
市役所などの相談窓口	29	6	7	2	3	3	5	8	2	1	2	8	0	0	48	3
その他	23	4	11	3	6	5	1	2	3	2	1	4	1	1	46	3
未回答	31	6	12	3	4	3	4	7	1	1	1	4	2	3	55	4
合計	524	100	387	100	120	100	61	100	191	100	26	100	79	100	1,388	100

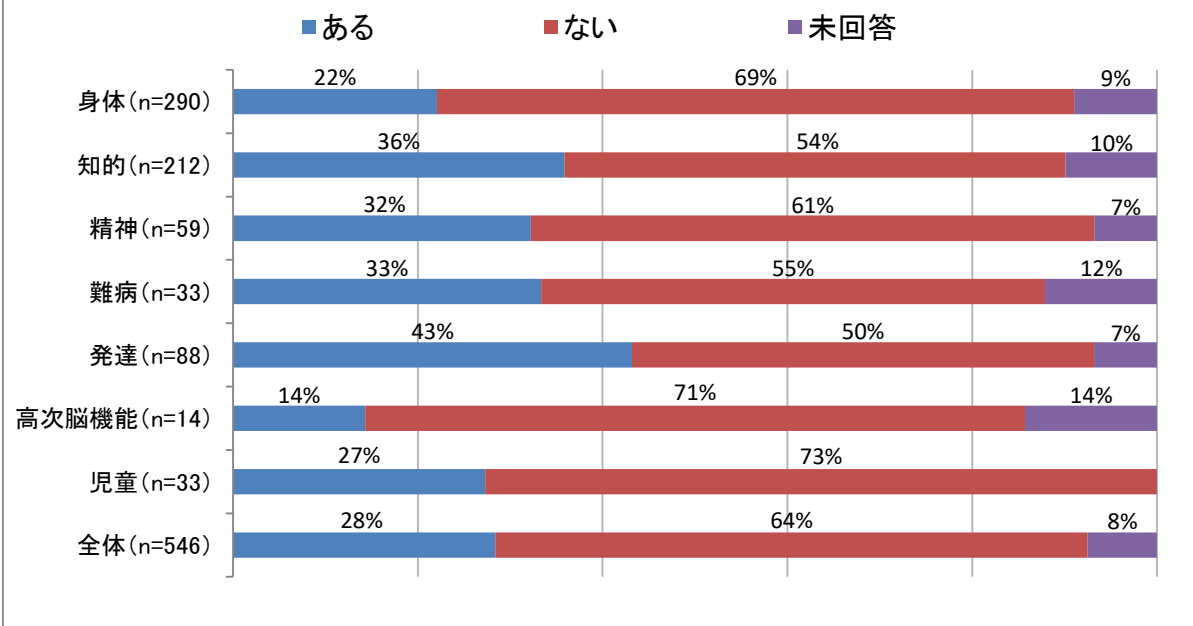
悩みや困ったことの相談相手について、全体では「家族や親せき」が29%と最も高い割合で、次いで「施設の職員など」(18%)、「友人・知人」(11%)の順に高い割合となっています。障がい別にみると、知的障がいのある人は、「施設の職員など」が32%と最も高くなっていて、その他の障がいでは、「家族や親せき」が相談相手として最も高い割合を占めています。

問32 あなたは、障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、  
どこから知ることが多いですか。(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	93	18	63	18	17	14	9	15	30	17	4	13	8	12	224	17
市役所などが発行する広報誌	138	26	35	10	20	16	12	20	23	13	7	22	8	12	243	18
インターネット	31	6	26	7	16	13	8	14	21	12	1	3	11	17	114	9
家族や親せき、友人、知人	68	13	43	12	13	11	4	7	34	20	5	16	14	22	181	14
障害福祉サービス事業所の職員	42	8	87	25	12	10	7	12	34	20	6	19	8	12	196	15
障がい者団体や家族会(団体の機関誌など)	1	0	6	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	9	1
かかりつけの医師や看護師	36	7	12	3	15	12	4	7	10	6	1	3	3	5	81	6
病院のソーシャルワーカーや介護保険のケアマネージャー	33	6	6	2	8	7	7	12	3	2	2	6	0	0	59	4
民生委員・児童委員	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3	0	0	4	0
保育所、幼稚園、学校の先生	0	0	2	1	0	0	0	0	2	1	0	0	6	9	10	1
相談支援事業所などの民間の相談窓口	8	2	15	4	4	3	1	2	4	2	0	0	4	6	36	3
市役所などの相談窓口	29	6	11	3	7	6	2	3	3	2	3	9	1	2	56	4
その他	15	3	17	5	3	2	0	0	3	2	1	3	2	3	41	3
未回答	31	6	32	9	7	6	5	8	5	3	1	3	0	0	81	6
合計	527	100	355	100	123	100	59	100	174	100	32	100	65	100	1,335	100

障害福祉サービスの主な情報源について、全体では「市役所などが発行する広報誌」が18%と最も高い割合で、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が17%と高い割合となっています。障がい別にみると、知的障がいのある人は、「障害福祉サービス事業所の職員」が25%と他よりも高い割合となっています。

### 問33 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。



障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがあるかについて、全体では、「ない」と回答した割合が64%となっています。障がい別に見ると、発達障がいのある人が、「ある」と回答した割合が43%と高くなっています。

### 問34 どのような場面で差別や嫌な思いをしましたか。

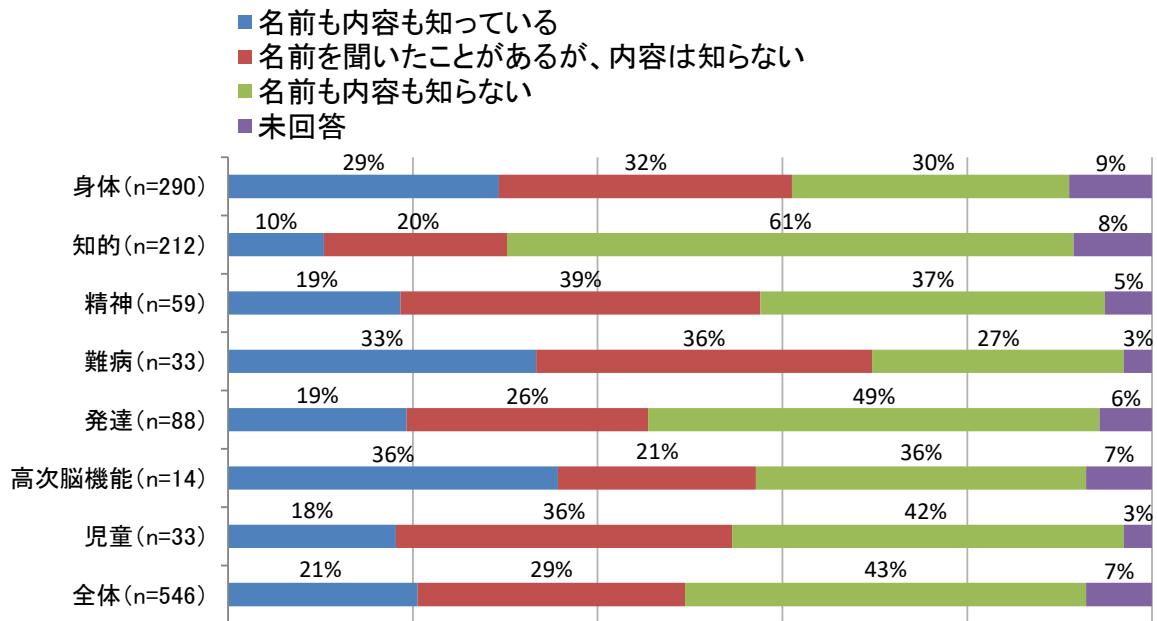
問33で「ある」又は「少しある」と答えた方が回答

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
学校	11	11	38	29	7	23	0	0	21	31	1	50	5	45	83	23
職場	21	21	22	17	7	23	2	14	10	15	0	0	0	0	62	17
外出先	24	24	30	23	4	13	6	43	16	24	0	0	5	45	85	24
市役所	2	2	1	1	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1
病院などの医療機関	12	12	11	8	1	3	1	7	6	9	0	0	0	0	31	9
住んでいる地域	12	12	19	14	4	13	2	14	8	12	0	0	1	9	46	13
自宅	5	5	4	3	3	10	1	7	3	4	1	50	0	0	17	5
その他	10	10	5	4	2	6	1	7	3	4	0	0	0	0	21	6
未回答	5	5	2	2	1	3	1	7	1	1	0	0	0	0	10	3
合計	102	100	132	100	31	100	14	100	68	100	2	100	11	100	360	100

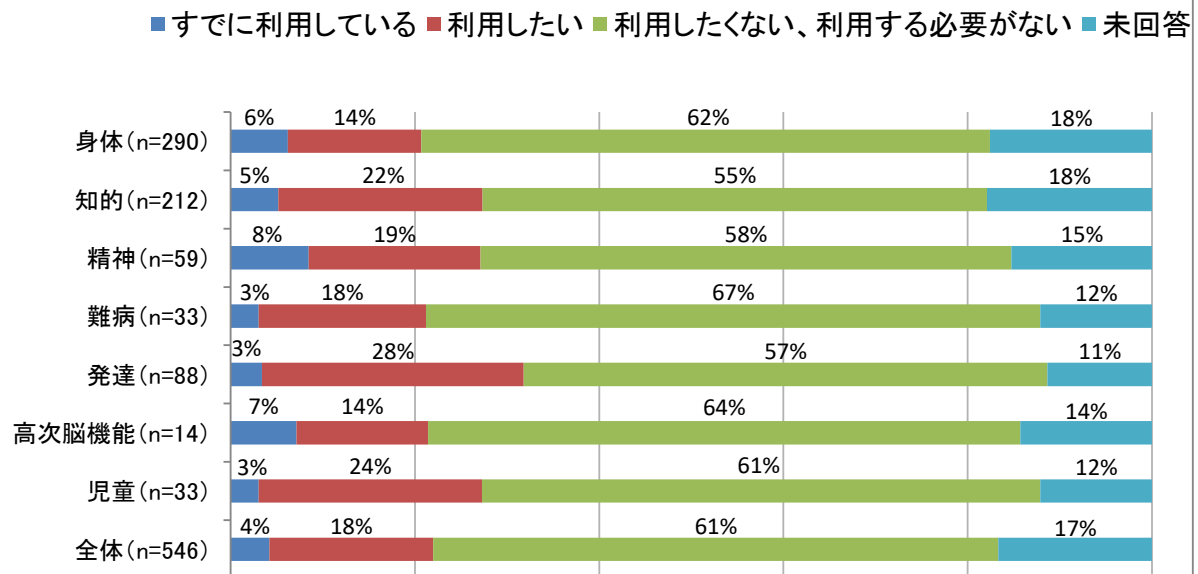
差別や嫌な思いをした場所について、全体では、「外出先」が24%と最も高くなっています。障がい別に見ると、知的、精神、発達障がいのある人及び障がいのある児童は、「学校・職場」が最も多くなっています。

### 問35 成年後見制度についてご存じですか。



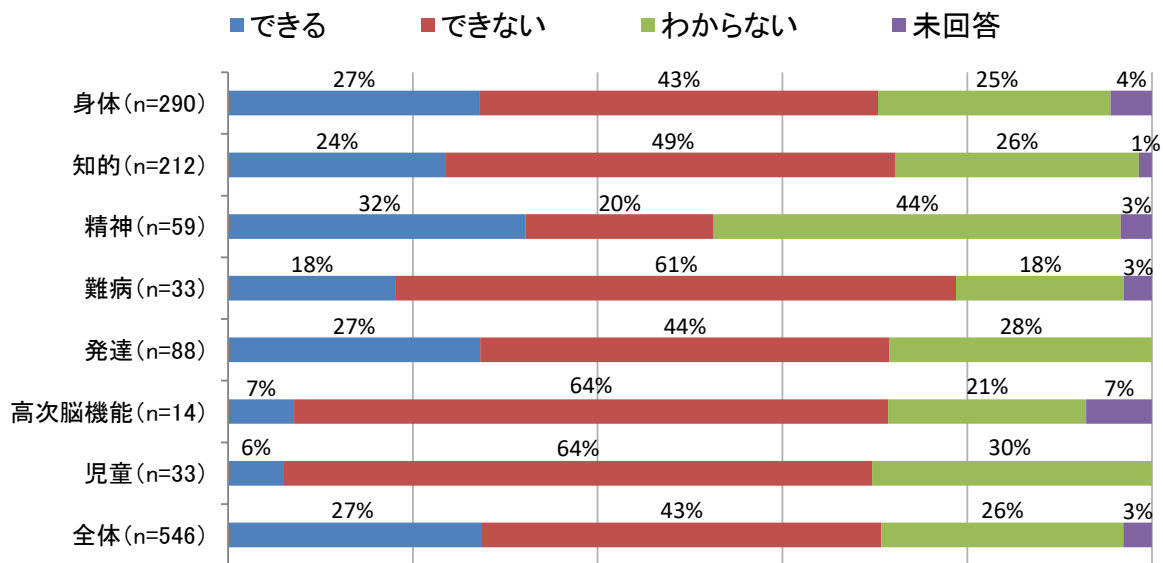
成年後見制度について、全体では、「名前も内容も知らない」が43%と最も高く、次に「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が29%と高い割合となっています。障がい別にみると、知的障がいのある人が「名前も内容も知らない」と回答した割合が61%と最も高くなっています。

### 問36 あなたは今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。



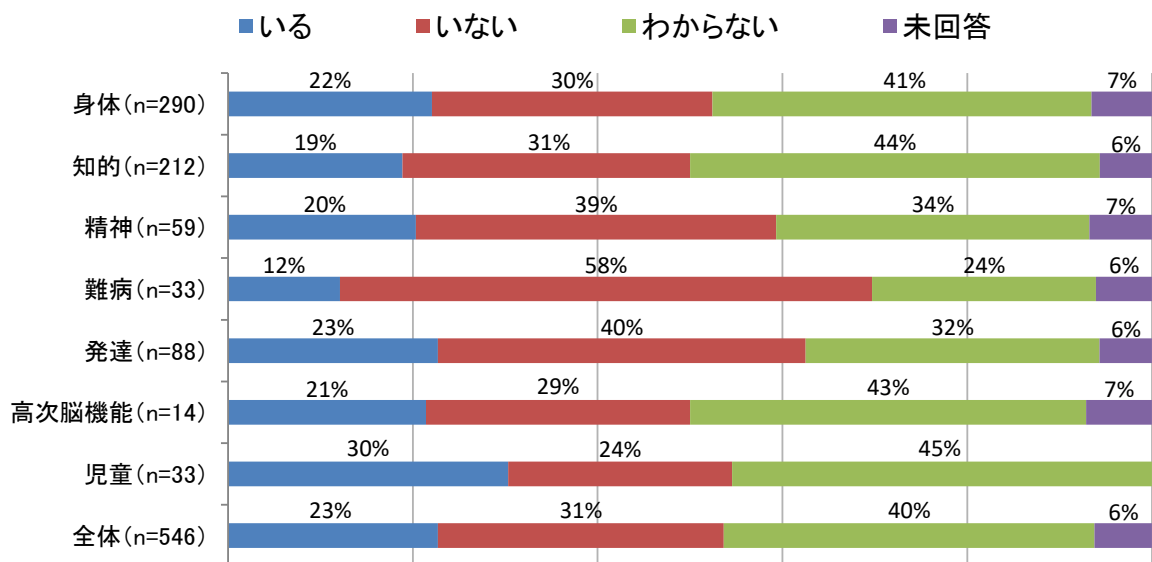
成年後見制度を利用したいと思うかについて、全体では、「利用したくない、利用する必要がない」が61%と最も高く、「利用したい」が18%と次いで高い割合となっています。障がい別にみると、「利用したい」と回答した割合は、発達障がいのある人が28%と最も高くなっています。

### 問37 あなたは、火事や地震、停電などの災害時に一人で避難できますか。



災害時に一人で避難できるかについて、全体では、「できない」と回答した人の割合が43%と最も高く、「できる」が27%と次いで高い割合となっています。

### 問38 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。



近所に助けてくれる人がいるかについて、全体では、「わからない」と回答した人が40%と最も高く、「いない」が31%と次いで高い割合となっています。障がい別にみると、難病の認定を受けている人が「いない」と回答した割合が58%と最も高くなっています。

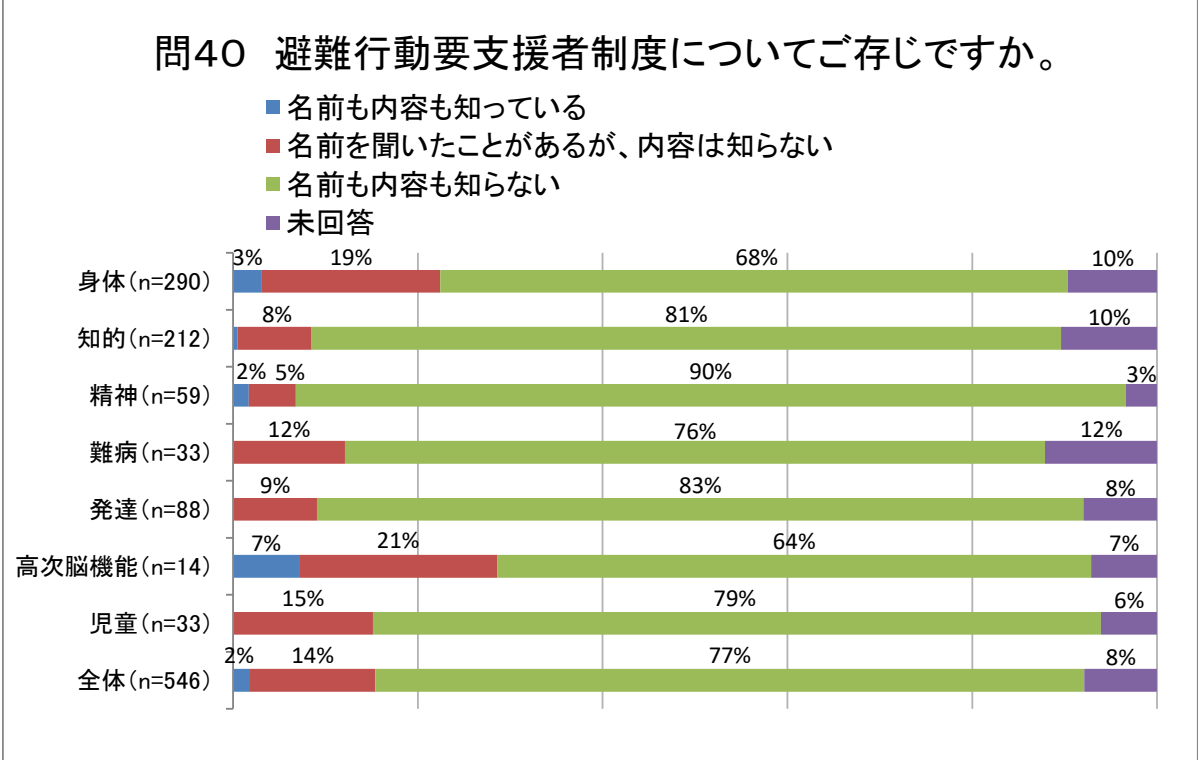


### 問39 火事や地震、停電などの災害時に困ることは何ですか。

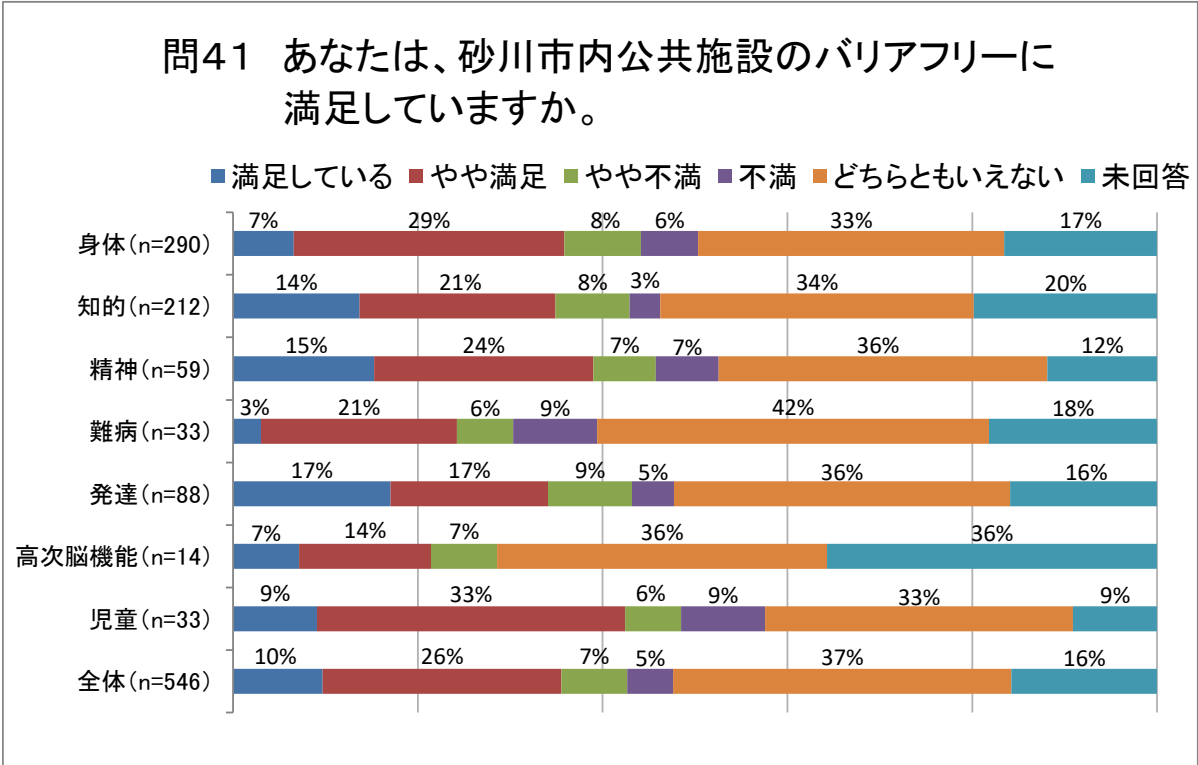
(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
投薬や治療が受けられない	147	20	83	13	35	26	21	20	24	10	7	17	9	9	326	16
補装具の使用が困難になる	25	3	5	1	1	1	2	2	3	1	1	2	5	5	42	2
補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	42	6	24	4	5	4	7	7	9	4	2	5	8	8	97	5
救助を求めることができない	62	8	67	11	9	7	14	13	24	10	5	12	13	12	194	10
安全なところまで、迅速に避難することができない	148	20	109	17	18	13	24	23	44	19	8	19	20	19	371	18
災害の発生情報、被害状況、避難場所などの情報が入手できない	83	11	98	16	18	13	11	10	32	14	4	10	16	15	262	13
周囲とのコミュニケーションがとれない	46	6	92	15	10	7	5	5	39	17	2	5	11	10	205	10
避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	141	19	112	18	29	21	17	16	42	18	8	19	14	13	363	18
その他	7	1	8	1	3	2	1	1	7	3	1	2	3	3	30	1
特にない	25	3	13	2	5	4	1	1	7	3	3	7	6	6	60	3
未回答	27	4	20	3	4	3	3	3	5	2	1	2	0	0	60	3
合計	753	100	631	100	137	100	106	100	236	100	42	100	105	100	2,010	100

災害時に困ることについて、全体では「安全なところまで、迅速に避難することができない」及び「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」がそれぞれ18%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、精神障がいのある人は、「投薬や治療が受けられない」が26%と最も高い割合となっています。



避難行動要支援者制度について、全体では、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」、「名前も内容も知らない」と回答した人が91%と高い割合を占めています。



砂川市内公共施設のバリアフリーについて、全体では、「どちらともいえない」が37%と最も高くなっています。障がい別に見ると、「満足している」と回答した割合は、発達障がいのある人の17%が最も高く、「不満」と回答した割合は、難病、児童の16%が最も高い割合となっています。

## アンケート自由記載欄まとめ

※実際に記載していただいた内容を、趣旨を損なわない範囲で要約している場合があります。

### 【アンケートについて】

記載内容
前回の調査より進展しているかい？不明なのでわからない。
取り組みしていることさえ知りませんでした。もっと世間に広げた方が良いかと。

### 【福祉サービスについて】

記載内容
美唄養護学校へ通う手段が親が送る手段しかない。（迎えは放課後等デイサービスで対応）親も共働きが多い時代なので、朝の送りについても対応してくれるサービスが必要。
コロナワクチンの配慮ありがたいです。もっと精神障がい者の施設を増やしてほしいです。
知的障がい者に対して、砂川市としての独自の支援やサービスがわからない。
入所するのを役所が決めるのに納得いかない。
介護保険サービスを受けているが、郵便物の投函等、お願いしたいことがあるが、契約しているサービス以外は受けてもらえない。もう少し柔軟に対応していただけるととてもありがたいです。
福祉サービスを受け、夫婦日常生活を送っています。ありがとうございます。夫の病院に付添していますが、私(妻)も昨年入院するなど、又、除雪は昨年1M幅の除雪を頼みましたが、大雪になるとほとんど除雪の跡がなくなり、今年は自分でしています。やはり大変です。それでも、できるだけ夫婦で自宅で暮らしたいと思っています。
例えば希望すれば希望学院へのスムーズな入所等
障害福祉サービスに地域の独自性がなく、対象の範囲がせまく、ご本人レベルの人が受けられるサービスがない。
一般就労に向けての取り組み方の説明会や企業とのマッチングイベントなど就労に向けての支援があれば助かると思う。
障がいを持つ子どもが年を取ると、その家族も年を取ります。支援している親が亡くなっても安心して障がいのある子が入れる施設がありますようにいつも思っています。

### 【医療について】

記載内容
医療機関での限度額制度など、いつも助けられています。支援に感謝いたします。ありがとうございます。

### 【暮らしについて】

記載内容
もっと困らない、不安のない日常がおくれますように。一人暮らしで困ります。外出先でも一人で出かけて困った時助けや支援が欲しい。お願いします。
乗り合いタクシーの予約が時間で決められていること（使いたくても、時間が合わず乗れない）

### 【公共施設について】

記載内容
市役所以外の施設が古すぎる。JRの駅にエレベーターがない。
駅の階段
<ul style="list-style-type: none"><li>・市内のバリアフリーの場所が少なすぎる</li><li>・タクシーのチケットを配布してもらってもタイミングが悪いと待ち時間が長いので結局家族の体調が悪くても自家用車を使用しないとダメなことがあった</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・バスを使い徒歩で移動することが多いのですが、砂川市は特に屋内で一旦休んで落ち着ける空間がなく、少し不便を感じます。人や音の情報から緊張したり不安になることもありますし、コンビニで何か買っても近くに座る場所がありません。お助けくださると幸いです。</li><li>・市役所の保護係の担当して下さる方々、とても親身に聞いてくださり嬉しいです。</li><li>・ゆうにあるピアノ、誰でも弾いて良くてハッピーです。ここで何か弾けるようになるために曲を覚えたくなるほどです。</li><li>・ヒグマの対策を強化して下さるとかなり安心します。</li><li>・ニュースにて滝川市内のバスが廃止になるのを見ました。砂川も廃止となる可能性があるのですか？不安です。</li></ul>

### 【障がいへの理解、差別、偏見について】

記載内容
施設の中に隠れた時、職員から利用者いじめにあった。監視カメラを設置して欲しい。人権問題である。
発達障がいの理解をまち全体で考えてほしい。発達障がいの理解ある医師、専門家が砂川市にいないことは問題である。高機能な人が相談する場もない。砂川市の発達相談支援センターが函館であることを知っていますか。現実的ではない。安心して暮らせる場がない。理解者と暮らせる場を提供してください。

### 【就労について】

記載内容
通所先に賃金を多くもらいたい

### 【教育について】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の砂川の学校に通い、砂川で働けるよう取り組んで欲しい。</li><li>・中学校へ見学に行きましたが、支援学級でも普通高校を希望する生徒が多く、その子達を中心の授業である印象、説明でした。重度の知的障がいがあっても、その子に応じた学習が出来るようにしてほしいです。障がいのある子は塾など習い事も制限されます。</li><li>・特別支援教育週学費を支給して下さりとても助かっています。しかし、何の費用が振り込まれているか不明です。学年末でもよいので学用品〇円支給、活動費〇円etc項目と支給日、総額など通知があると、支給忘れなどもなくなると考えます。</li></ul>

【その他】

記載内容
旧市役所の時よりも、今現在の福祉課が利用しやすい。人数が多い。冷たい視線（全員ではないですが、一部の人にそういう方が存在する。）
補足給付の金額をあげてほしい
福祉のお世話になってます。生活は大変です。身体障がい者だから病気してから身体動けなくなったかな。前を向いて、人生過ごします。車も手放して、ありがとうございます。
市役所の対応が良くない。
日頃より障害福祉にご尽力いただいておりますことに、お礼申し上げます。自分の障がいは軽度なのだから「自分のことは自分でできるように」と言い聞かせて生活してきましたが、体躯の変形が進み、痛みや身体の不自由度が増し、他人様の力をお借りすることが多くなってしまいました。リハビリや運動療法も受けていますが、成果を出せないでいるのが悔しいところです。砂川市職員の方々や包括支援センターの方々には、お世話いただいております、感謝申し上げます。ありがとうございます。本アンケートが計画に反映されるとともに、施設のバリアフリー化、人をサポートする技術力の高い機器の導入などにより、障がい者、健常者の分け隔てなく、どなたでも住みやすい街になることを願っております。
親2人とも病気があり、もし亡くなってしまったらと思うと不安です。（母記入）
親2人とも病気がありますので、親亡きあとが心配です。（母記入）
本人は病院に入院中でコロナ禍で面会できず、回答できない箇所があります。
除雪が足りないと思います。私の家など道の雪を押し込むの大変困っている。
仕事したくても仕事がない、障がい者になる前は仕事していて年金との収入が有り楽でしたが、今では年金だけではかなり苦しい。福祉に相談したが、車を離さないと駄目とお役所仕事の言葉で駄目でした。なんで母の通院、自分の通院に必要です。バスの本数も減り、大変です。福祉の人はそのへんを考えてほしい。
サービスや行政の取り組みにどのようなものがあるかよくわからない。
目に見える障がい、見た目にはわからない障がいがあります。カミングアウトしたくても出来る人、出来ない人、助けを求められる人、求められない人、色々な人がいます。誰もが、手を差しのべられるような、そんな世界になってくれたら嬉しいです。一番傷つく言葉は「何でも障がいのせいにならないで」「気持ちのもちよう」「努力不足」etcこれが傷つきます。行動でも言葉でも、助け合い、フォローし合える人が増えてくれたらお互いに嬉しくなると思います。